花岡勘場指図

郷土史研究会

花岡勘場とは、都濃郡花岡宰判のことで、御代官所とも呼ばれておった。萩藩庁の出役所のこと。その跡地は花岡村の村役場の敷地となり、前庭には「しんぱく」の老樹が亭々と高く立ち、維新時の遺品砲筒が据えられてあった。役場の隣りあいに四恩幼稚園も開設された。この附近は花岡東町と呼ぶ。

勘場には、郡奉行に属す代官を首長として、都濃郡内の萩領の民政、勧農、徴租、治安等一切の要務を管掌したところ。そして、勘場には民間より大庄屋、同加勢、算用師、御惠米方、勘場守などが勤務した。これを勘場役人というが、代官随行の藩府側役人と区別して、勘場地下役人ともいった。

本図は、花岡の上原勝平の写したもので、添え書きにある天保九年に建替え、明治二年に解払、御茶屋跡へ更に建築とある。

上原家は、「綿屋」と屋号をいう富商であった。勝平なる人は、明治五年当時に庄屋役にあったので、本図面を写したもの、その他「四冊書付」写本が同家にのこっている。庄屋制度上の最後の庄屋であったと思われる。

本図によって代官所の規模、間取り、構えなどを覗う好資料である。なお、上原家は、勝平、権藤、乙治、良太郎、現主正夫と続いた。

指図　縦49㎝　幅37㎝

5.7㎝

花岡勘場指圖

16.5㎝

四ツに折りたたみ
その上表の題字

図を披見すれば、正面に勘場三役。西の注文出に代官の居間、式台、中庭あり。東側に御算用方、その奥に御普請方居間、小中庭と小式台が付いている。

居間に対して庄屋・番手の詰所は固屋と呼んである。勘文蔵は、書類文書が保管してある。

本門
廊下
廊下
上り場
エレベーター
トイレ
ロビー
ホール
ステージ
舞台
楽屋
食堂
厨房
事務室
倉庫
玄関
正面
裏門
天保九年の建築
上原勝平氏
昭和動物園
昭和動物園略図